

自分たちで作った映画を映画館で上映したい！

製作・監督など

映画の作り手のための 上映入門講座

ミニシアター支配人など
現場のプロから映画館での公開や、
地方での上映に必要な
基本的な知識を学ぶ短期集中講座

2020年12月4日[金], 5日[土], 12日[土]

会場 | 映画美学校 (オンラインでも参加可能)

デジタル技術の進歩によって映画制作がより身近になり、誰もが映画を作ることができるようになりました。製作本数・公開本数は急増し、映画制作を教える大学や専門学校も増えています。その一方、映画の“上映”について学ぶ機会はほとんどありません。この講座では、若い映画の作り手を対象に、実際に自分たちで配給宣伝を行ったインディペンデント映画の製作者や、ミニシアターの支配人など現場のプロフェッショナルを講師に迎え、映画館での公開や、地方での上映に必要な基本的な知識を学びます。

12月4日[金] 19:00—21:00 (120分)

事例紹介—インディペンデント映画が劇場公開されるまで
城真也(「アボカドの固さ」監督)、西原孝至(「シスターフッド」監督)ほか

12月5日[土] 14:30—16:00 (90分)

映画上映に関する基礎知識—ミニシアターって何だ？
コミュニティシネマセンター

12月5日[土] 16:30—18:30 (120分)

ミニシアター支配人に聞く①
—地域におけるインディペンデント映画の上映
田中誠一(出町座)、宮崎善文(松本CINEMAセレクト)
志尾睦子(シネマテークたかさぎ)ほか

12月12日[土] 14:30—16:30 (120分)

ミニシアター支配人に聞く②
—東京のミニシアターとインディペンデント映画
北條誠人(ユーロスペース)、大槻貴宏(ポレポレ東中野)ほか

12月12日[土] 17:00—18:30 (90分)

講師たちとのフリーディスカッション

受講資格

18才以上。映画館での上映を考える
インディペンデントの映画製作者ならどなたでも参加できます。

会場参加—7,500円(定員10名)

オンライン—5,000円(定員30名)

*オンラインでの参加者は、講師への質問等はチャットのみとなります。

*会場での参加を希望される方でも、体調不良等の場合はオンラインで受講することもできます。

全
コマ

映画の作り手 製作・監督などのための 上映入門講座

12月4日[金] 19:00-21:00 (120分)

ガイダンス/事例紹介—インディペンデント映画が劇場公開されるまで 城真也(映画監督)、西原孝至(映画監督)ほか

映画はどのように公開されるのか。今年9月にユーロスペースで公開され話題となった『アポカドの固さ』(2020)の城真也監督ほか製作陣とドキュメンタリー映画『わたしの自由について〜SEALDs 2015〜』(2016)、『もうろうをいきる』(2017)、『シスターフード』(2019)等の西原孝至監督を招き、インディペンデント作品が実際に上映されるまでの行程を聞きます。

12月5日[土] 14:30-16:00 (90分)

映画上映に関する基礎知識—ミニシアターって何だ? コミュニティシネマセンター

そもそも「ミニシアター」ってどんな映画館をさすのでしょうか。ミニシアターやシネコン(シネマコンプレックス)といった映画館や、シネマテーク、映画祭など、日本の映画上映の歴史と現状について解説します。

12月5日[土] 16:30-18:30 (120分)

ミニシアター支配人に聞く ①

—地域におけるインディペンデント映画の上映

インディペンデント映画を積極的に上映している地域の映画館や映画祭等、上映者の話を聞きます。

12月12日[土] 14:30-16:30 (120分)

ミニシアター支配人に聞く ②

—東京のミニシアターとインディペンデント映画

東京で新たな作り手の作品を積極的に紹介しているミニシアターの支配人らによるトーク。

12月12日[土] 17:00-18:30 (90分)

講師たちとのフリーディスカッション

自作の公開についてのアドバイス等も、直接講師に聞くことができます。

参加申込方法

参加を希望する方は、11月26日までに

下記項目をご記入のうえ、メールにてお申し込みください。

申込みを確認後、参加費のお支払い方法をお知らせします。

その後、入金が確認され次第ご連絡致します。

申込メールアドレス film@jc3.jp

※定員になり次第締め切らせていただきます。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 件名「映画の作り手のための上映入門講座 受講希望」 | (7) 出身地 |
| (2) 名前(ふりがな) | (8) 学校名・勤務先 |
| (3) 郵便番号・住所 | (9) これまでの映画制作経験 |
| (4) 電話番号 | (10) 受講を希望する理由 |
| (5) Email | (11) 参加方法：(会場での参加・オンライン聴講) |
| (6) 生年月日 | |

田中誠一(出町座・座長/プロデューサー)

フリーランスで映画宣伝などの経験を積みシマフィルムに入社。自社製作映画のプロデュースの傍ら、2013年より〈立誠シネマプロジェクト×シネマレッジ京都〉事業を立ち上げ、企画運営を担当。2017年、出町榎形商店街に「出町座」開館、座長となる。2019年、関西のミニシアター4館でインディペンデント映画を紹介する「次世代映画ショーケース」を企画、開催した。認定 NPO 法人東京フィルメックス理事。

宮崎善文(松本 CINEMA セレクト代表)

1989年より自主上映会「松本 CINEMA セレクト」を運営。会場としていた映画館が閉館した後、2006年 NPO 法人コミュニティシネマ松本 CINEMA セレクトを設立。現在は公共ホールを借りて年間約80日上映会を実施している。古典から最新の自主制作映画まで幅広く涉猟し、プログラムを組む。若い作り手の作品も積極的に上映。

志尾睦子(シネマテーク高崎映画祭総支配人/高崎映画祭プロデューサー)

1999年からボランティアスタッフとして高崎映画祭に参加。2004年群馬県内初のミニシアター、シネマテークたかさきを開館、支配人に就任(現在は総支配人)。高崎映画祭ディレクターを経て、2008年より高崎映画祭プロデューサーを務める。「(若手)監督たちの現在」部門等で日本映画界の新しい才能を積極的に紹介している。

北條誠人(ユーロスペース支配人)

大学在学中から映画の自主上映に携わり、87年、ミニシアター「ユーロスペース」の支配人に。ミニシアター文化の拠点として通常の上映以外に、映画の製作・配給、特集上映等、様々な企画を手掛ける。国内外のアート系作品に加え、インディーズ映画も数多く上映している。

大槻貴宏(ポレポレ東中野代表/下北沢トリウッド代表)

1999年に「下北沢トリウッド」を設立し、新海誠など多くの新人監督の作品を発掘、上映する。2003年に「ポレポレ東中野」を開館。代表としてドキュメンタリーや若手作家中心のプログラムを組み、運営を続けている。2004年から映画企画・製作にも携わるようになり、最近ではヨーロッパ企画による映画『ドロステのはてで僕ら』(2020)の製作を行った。

*この講座は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じたうえで実施いたします。